

システムゲノムグループ(村川グループ)

技術補佐員(時間雇用職員)募集要項

京都大学高等研究院ヒト生物学高等研究拠点(ASHBi)

2020年12月25日

ヒト生物学高等研究拠点(ASHBi)は、文部科学省「世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)」の採択を受け、2018年10月に設立されました。本拠点では、我々ヒトに付与された特性の獲得機構とその破綻による病態発症の原理を究明するため、新しいヒト生物学の創成を目指しています。ASHBiにおいて、村川グループでは、技術補佐員(時間雇用職員)採用のため、以下の公募を行います。

1. 職位:

技術補佐員(時間雇用職員)

2. 採用人数:

2名

3. 所属・勤務場所:

京都大学高等研究院 ヒト生物学高等研究拠点
606-8501京都市左京区吉田近衛町

4. 資格等:

1. 基本的な分子生物学的技術に習熟している方
2. 哺乳類の細胞培養に習熟している方
3. 周囲と連携、協調して意欲的に業務に従事できる方

5. 着任時期:

2021年4月1日以降

6. 任期・試用期間:

2021年4月1日以降のなるべく早い時期(応相談)～2022年3月31日まで
(雇用期間終了後、更新する場合あり。最長5年まで)

試用期間:なし

7. 勤務内容:

ヒト生物学高等研究拠点 (ASHBi) では、ヒト及び非ヒト科霊長類を主な研究対象とし、ヒトに付与された特性の獲得原理とその破綻を究明する先進的ヒト生物学を創出、革新的医療開発の礎を形成することを目指します。本研究拠点の主要目標は、1) ヒト生物学の基幹領域、特に生殖・発生・発達・老化さらには遺伝・進化の分野において、ゲノム制御解析や病態モデルの作製を集中的に推進し、傑出した成果を輩出すること、2) 多分野を融合した学際的な方法論により種差の表出原理を解明し、モデル生物から得られた知見をヒトへと適切に外挿すること、3) 霊長類での難病モデルの作出や遺伝子機能の解析を推進すること、4) 鍵となるヒト細胞系譜や組織の再構成系を樹立し、多層的な情報に基づく厳密な検証を行うこと、5) ヒトや非ヒト科霊長類の試料の適切な使用に関する倫理や、創出される研究成果の意義や価値に関する哲学を創生することです。

ASHBi では拠点のミッション遂行を加速させる能力を有した事務補佐員/技術補佐員/教務補佐員を募集します。システムゲノムグループ(村川グループ)では、ヒトゲノムが働く仕組みを理解して、新しい医療やヘルスケアを生み出すことを目指して、ゲノム解析技術の開発や生命ビッグデータ解析に取り組めます。候補者は、基本的な分子生物学的技術(クローニング、ベクター作成、定量PCR、トランスフェクションなど)、核酸(RNA・DNA)を取り扱う実験、細胞培養実験に加え、RNAシーケンシング解析などの網羅的解析技術を習得していただく機会があります。RNAシーケンシング解析、RNA研究、cDNAライブラリー作成に関する知識と実績・経験は大いに歓迎いたします。活気ある国際的な研究環境において最新のヒトゲノム解析を行う中で、様々な実験経験を積んで頂けます。

8. 勤務形態:

週30時間、5日勤務(勤務日、勤務時間帯応相談)

(土・日曜日、祝日、年末年始、創立記念日及び夏季一斉休業日を除く。)

必要に応じて超過勤務を命ずることがあります。

9. 給与:

時給 950円~1,600円(本学支給基準に基づき、能力・経歴により決定)

10. 手当:

本学支給基準に基づき、通勤手当、超過勤務手当を支給(その他諸手当、賞与、退職手当等はなし)

11. 社会保険:

健康保険、厚生年金保険、雇用保険及び労災保険に加入。

12. 応募締切:

適任者を決定するまで募集します。

13. 選考方法:

書類選考及び必要に応じて面接選考を行います(面接等の詳細は後日連絡します)。なお、面接等にかかる交通費・滞在費は応募者の自己負担となります。

14. 応募方法及び必要書類:

以下の必要書類を、下記書類送付先にE-mailの添付(PDF形式)でご送付ください。

◆必要書類

(1)履歴書(写真貼付、連絡先(Tel、E-mail)明記)

(2)経歴書(応募の動機、これまでの業務・業績等の説明をA4用紙1枚程度に記載)

●電子メールでの提出先:

ASHBi-recruit@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

メールの件名は「ASHBi 村川グループ 技術補佐員 応募書類」としてください。

15. 問い合わせ先:

京都大学 高等研究院 ヒト生物学高等研究拠点

e-mail:ASHBi-recruit@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

16. その他:

提出いただいた書類は、採用審査にのみ使用します。正当な理由なく、第三者へ開示、譲渡及び貸与することは一切ありません。

京都大学は男女共同参画を推進しています。

京都大学では、受動喫煙の防止を図るため、すべてのキャンパスにおいて喫煙場所に指定された場所を除き、屋内外での喫煙を禁止しています。